

都市再生整備計画

おおさかじょうとうぶちく
大阪城東部地区

おおさかふ おおさかし
大阪府 大阪市

令和7年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☒
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	大阪府	市町村名	大阪市	地区名	大阪城東部地区	面積	57.3	ha
計画期間	令和7年度	～	令和10年度	交付期間	令和7年度	～	令和10年度	

目標

大目標：大阪城東部地区における歩行者重視のまちづくり
目標1：都市魅力向上に資する賑わいの創出
目標2：当地区の利便性・快適性の向上
目標3：当地区の回遊性の向上

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況
(経緯)
大阪城東部地区は、大阪城公園に隣接し、複数の鉄道駅や、国際的な観光拠点でもある大阪城公園に近接するなど、大阪を代表する拠点となり得るポテンシャルを有している。しかし、地区内には、もと森之宮工場(ごみ焼却工場)やその建替計画用地、府立成人病センター跡地などの未利用地のほか、Osaka Metro検車場やJR森ノ宮電車区等の鉄道施設などが存在しており、高度な都市的利用がなされず、地区のポテンシャルを活かしきれていない状況にある。当地区のまちづくりについては、2012年(平成24年)6月に「ランドデザイン・大阪」を府・市にて策定し、「大阪城・周辺エリア」として象徴的なエリアの一つに位置づけ、大阪城公園と周辺のにぎわい創出や世界的観光拠点としての魅力向上、森之宮周辺の活性化を図ることとした。また、2019年(令和元年)8月に公立大学法人大阪が公表した「新大学基本構想」において、2025年(令和7年)を目途に当地区に新大学の都心メインキャンパスを整備する方針が示されたこと等を受け、当地区のまちづくりのコンセプトや土地利用計画の具体化を図ることを目的に、2020年に府・市として「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を策定した。
(現況)
令和7年秋の大阪公立大学森之宮1期キャンパス開設に続く1.5期開発の実現と地区全体のまちづくりの具体化として、2024年(令和6年)に公表した「大阪城東部地区 1.5期開発の開発方針」に基づき、民間活力導入による、大阪公立大学の1.5期キャンパスの設置や、アリーナ・ホールといった大規模集客・交流空間、新駅の駅前空間などを整備することとし、大阪府・市、地権者等で、大阪公立大学を先導役とした、多世代・多様な人が集い、交流する国際色ある拠点の形成に向け、まちづくりを推進している。
(必要性)
当地区のまちづくりの上位計画である「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」に示す基盤整備計画として、バリアフリー化された歩行者空間のネットワーク化により、大阪城公園から1.5期開発エリアをむすぶ歩行者空間として、利便性・快適性・回遊性の向上を図るとともに、新たな賑わいを創出するなど、歩行者重視のまちづくりを進めることが当地区の活性化に必要となっている。

課題

・大阪城公園から1.5期開発エリアをむすぶ歩行者空間の整備等による地区全体の利便性・快適性・回遊性の向上及び賑わいの向上を図る

将来ビジョン(中長期)
大阪城東部地区のまちづくりの方向性(2020年9月 大阪府・大阪市策定)
1..コンセプト
大学とともに成長するイノベーション・フィールド・シティ(新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち)
2..コンセプトを具体化する戦略・シナリオ等
(1)まちにひらかれ、まちとともに成長する「次世代型キャンパスシティ」
(2)健康医療・環境等の既存資源を活かした「スマートシティの実証・実装フィールド」
(3)多様なひと、機能、空間、主体が交流する「クロスオーバーシティ」
3..土地利用・基盤整備計画
<基本的な考え方>
充実した交通インフラや大阪城公園に隣接した立地特性を活かし、土地利用転換・機能更新と併せて基盤施設や水辺空間等の整備を進め、東西軸のヒガシの拠点に相応しい土地の高度利用と良好な市街地環境の形成を図る。
<歩行者空間について>
方針：利便性・快適性・安全性に優れた歩行者重視のまちづくり

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
JR大阪城公園駅利用者数	人／日	JR大阪城公園駅利用者数	賑わいの創出	23,208人／日	R4年度	28,000人／日	R10年度末
通行時間	分	大阪城公園駅から1.5期開発エリアへの歩行に要する時間	利便性・快適性の向上	9分	R5年度	7分	R10年度末
通行人数	人／時	デッキレベルでの通行人数	回遊性の向上	246人／時	R6年度	450人／時	R10年度末

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
目標1:【都市魅力向上に資する賑わいの向上】 ・大阪城公園と周辺が一体となった賑わいを創出する		【基幹事業】 地域生活基盤施設 立体遊歩道の整備 【基幹事業】 地域生活基盤施設 広場(展望スペース)の整備 【基幹事業】 高質空間形成施設 エレベーターの設置 【関連事業】 歩行者空間等の整備(河川区域) 【関連事業】 立体遊歩道等の整備(開発用地)
	目標2:【当地区の利便性・快適性の向上】 ・大阪城公園駅から1.5期開発エリアへつなぐ立体遊歩道としてネットワークを整備し、当地区の利便性・快適性の向上を図る	【基幹事業】 地域生活基盤施設 立体遊歩道の整備 【基幹事業】 高質空間形成施設 エレベーターの設置 【関連事業】 歩行者空間等の整備(河川区域) 【関連事業】 立体遊歩道等の整備(開発用地)
	目標3:【当地区の回遊性の向上】 ・2025年秋大阪公立大学森之宮キャンパス整備をはじめとした大規模開発に伴い、当地区の回遊性の向上を図る	【基幹事業】 地域生活基盤施設 立体遊歩道の整備 【基幹事業】 地域生活基盤施設 広場(展望スペース)の整備 【基幹事業】 高質空間形成施設 エレベーターの設置 【関連事業】 歩行者空間等の整備(河川区域) 【関連事業】 立体遊歩道等の整備(開発用地)
その他		
【今後の開発予定】 2025年(令和7年)秋:大阪公立大学森之宮1期キャンパス開設予定 2028年(令和10年)春:1.5期開発(新駅、駅ビル、森ノ宮キャンパス1.5期、大規模集客・交流施設)のまちびらき		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

様式(1)-④-2

交付対象事業費	2,666.6	交付限度額	1,066.6	国費率	0.4
---------	---------	-------	---------	-----	-----

「都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)」を活用の場合、本様式を使用する

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		立体遊歩道	西日本旅客鉄道㈱	間	60m	R7	R10	R7	R10	2,221.2	2,221.2			2,221.2	
地域生活基盤施設		広場	西日本旅客鉄道㈱	間	146m2	R7	R10	R7	R10	264.0	264.0			264.0	
高質空間形成施設		エレベーター	西日本旅客鉄道㈱	間	2箇所	R7	R10	R7	R10	181.4	181.4			181.4	
合計										2,666.6	2,666.6	0.0	0.0	2,666.6	…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用 調査														
まちづくり活動推進 事業														
合計										0	0	0	0	0 …B
												合計(A+B)		2,666.6

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
歩行者空間等の整備(河川区域)	—	未定									
新駅整備	—	Osaka Metro									
立体遊歩道等の整備(開発用地)	—	未定									
交通広場(開発用地)	—	Osaka Metro									
立体遊歩道等の整備(豊里矢田線デッキ)	—	Osaka Metro, 公益大学法人大阪									
大阪公立大学森之宮キャンパス整備	—	公立大学法人大阪									
豊里矢田線美装化	—	大阪市									
合計											0

229.33333

大阪城東部周辺地区(大阪府大阪市)

面積

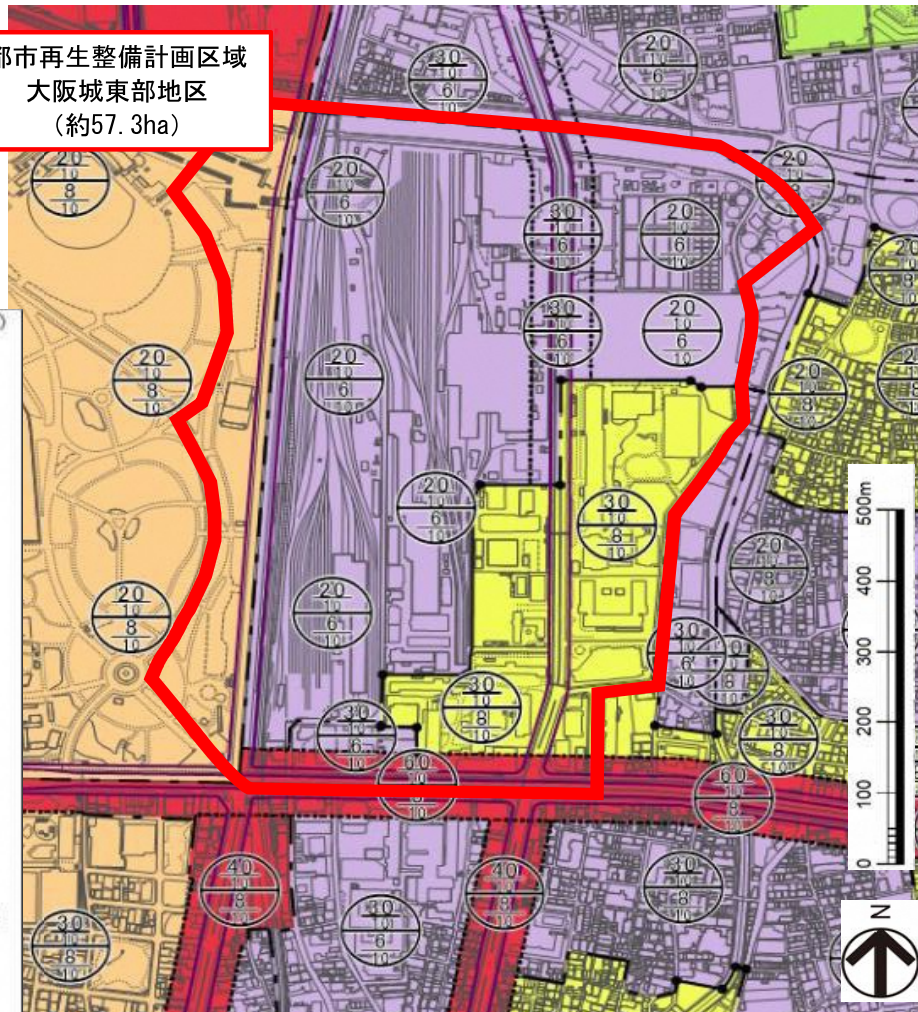
57.3 ha

区域

大阪市城東区森之宮1丁目、2丁目
大阪市中央区大阪城3丁目都市再生整備計画区域
大阪城東部地区
(約57.3ha)

凡例(大阪都市計画のうち、次のものを表示している)

- 第1種中高層住居専用地域
- 第2種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域
- 都市計画区域境界・市界
- 都市計画道路・都市高速鉄道
(連続立立交差)
- 道路(計画道路を含む)の境界から
25m後退した用途地域・容積率境界
- 廃止した計画道路の境界から25m
後退した用途地域・容積率境界
- 道路(計画道路を含む)の境界から
40m後退した用途地域・容積率境界
- 道路(計画道路を含む)・河川等の
中心による用途地域・容積率境界
- 廃止した計画道路の中心による
用途地域・容積率境界
- 地形地物・敷地等の用途地域・容積率境界
- 見通し線による用途地域・容積率境界



大阪城東部地区(大阪府大阪市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	大目標:大阪城東部地区における歩行者重視のまちづくり 目標1:都市魅力向上に資する賑わいの創出 目標2:当地区の利便性・快適性の向上 目標3:当地区の回遊性の向上	代表的な指標	JR大阪城公園駅利用者数 (人/日)	23,208人/日 (R4年度) → 28,000人/日 (R10年度末)
			通行時間 (分)	9分 (R5年度) → 7分 (R10年度末)
			通行人数 (時/日)	246人/時 (R4年度) → 450人/時 (R 年度末)

